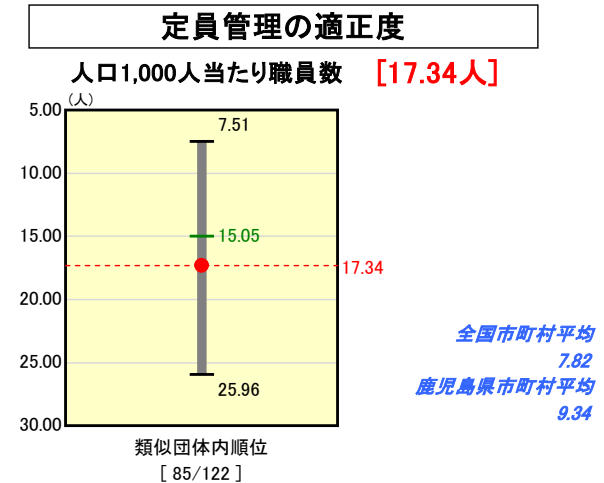
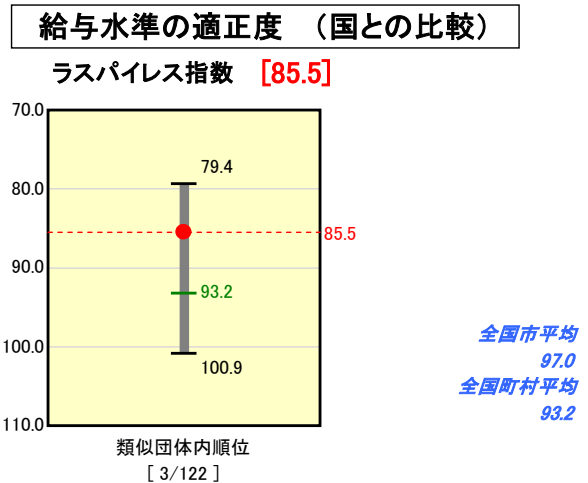
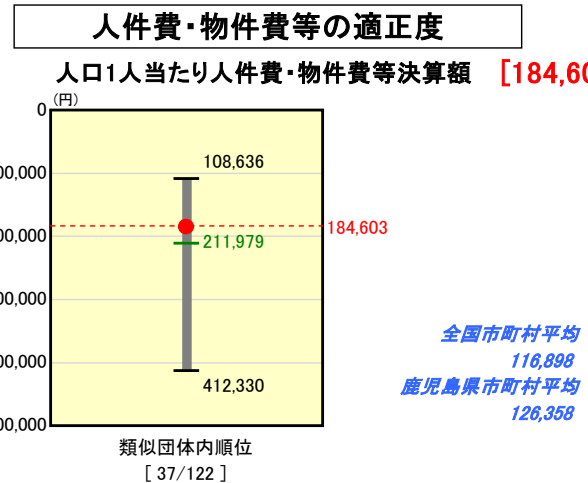
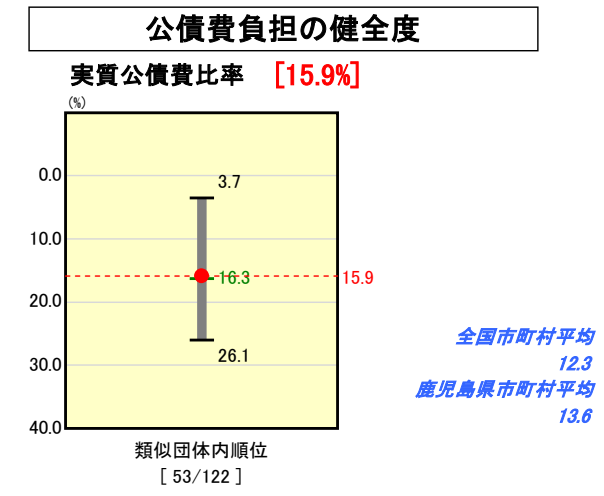
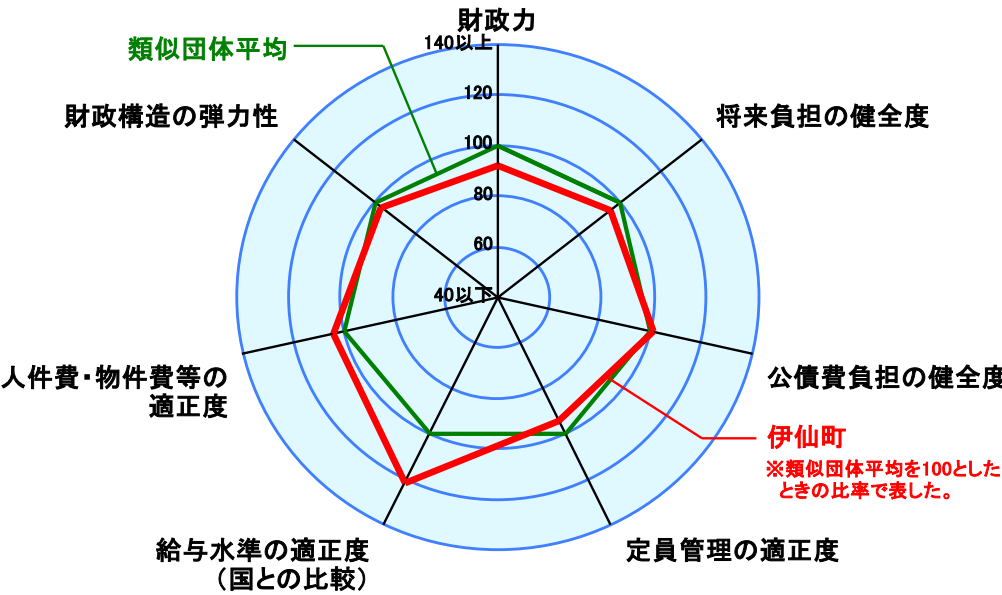
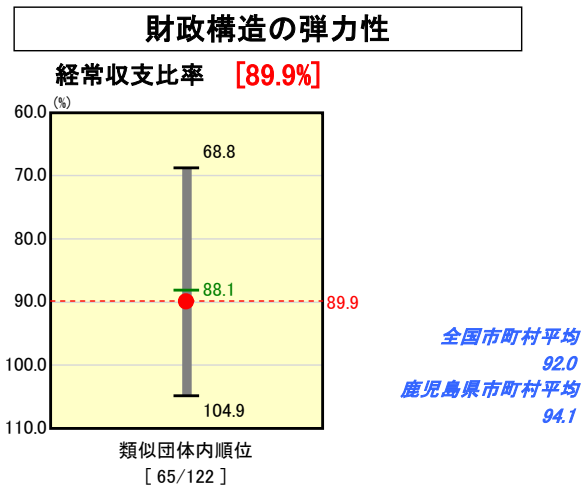
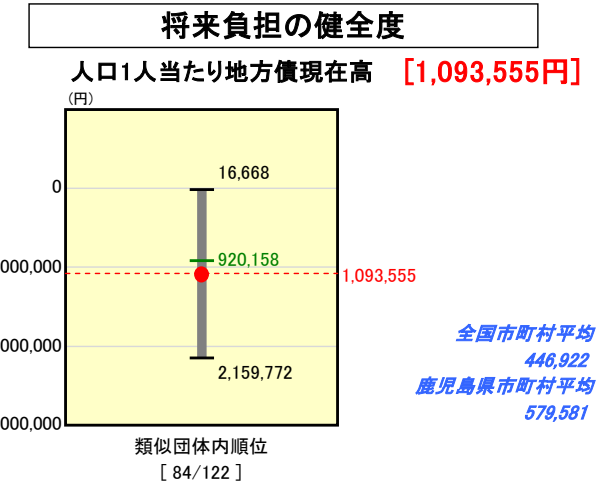
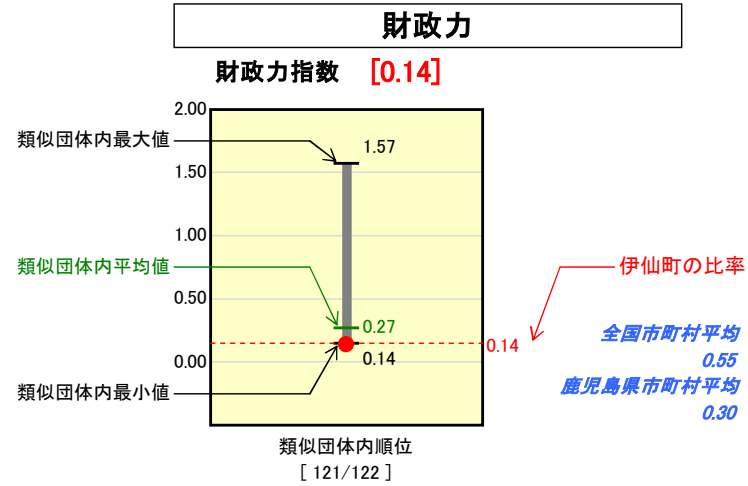


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鹿児島県 伊仙町

人口	7,495 人(H20.3.31現在)
面積	62.70 km ²
歳入総額	6,265,658 千円
歳出総額	6,186,951 千円
実質収支	63,839 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
人口の減少や全国を上回る高齢化率(平成20年度35%)に加え、農業を主体した産業しかない事等により財政基盤が弱く類似団体では、下位に位置する。組織の見直し(認可保育所の民間移管)等を行い歳出の削減を行う。

○経常収支比率
経常収支比率は前年度(91.7%)と比較すると(89.9%)と低くなってきているが類似団体との比較では、まだ高く今後認可保育所の民間移管を行い、また健康増進施設の活用を行うことで老人福祉費関係の歳出を抑えることで、義務的経費を抑える。

○人件費、物件費等の適正度
人件費・物件費等については、前年度(181,095円)と比較すると(184,603円)と高いが、類似団体と比較すると211,979円と低い。今後、人件費については、保育所の民間移管で、物件費については、消耗品等の集中管理で歳出の削減を行う。

○給与水準の適正度
給与水準については、国との比較によると前年度(85.5)と比較すると同じ数値である。また類似団体(93.2)と比較しても低くなっている。今後も、この数値よりあがらないようにしなければならない。

○将来負担の健全度
人口一人当たりの地方債残高は、前年度(969,809円)と比較すると1,093,555と高くなっている。また、類似団体(920,158)と高くなっている。これは平成17年度からのまちづくり交付金の影響が大きく平成21年度で事業が終了する。今後単独事業を減らし、新規事業については、徹底した精査及び、有利性の高い起債で抑制を行う。

○公債費負担の健全度
実質公債費率については、前年度(17.2)と比較すると15.9と低くなっており、類似団体(16.3)との比較においても低いが、平成22年度移行においては、まちづくり交付金事業の元金償還により増加するのが、予想される。平成19年度より高金利の公債費の借換等や繰上償還も視野に入れた実質公債費率の低下に努める。

○定員管理の適正度
人口1,000人当たりの職員数は、前年度(16.92人)と比較すると15.05人と低くなっているが、類似団体(14.59人)と比較するとまだ高い位置にある。今後も認可保育所の民間移管等を行い、定員管理の適正化を図る。